

1) 指示語を問う

◆「これ・それ・あれ」「このこと・そのこと・あのこと」などの「指示語」が何を指しているかを問う問題である。

次の順番で考えよう。

- ・「指示語」を含む文をよく見て、内容をつかもう。
 - ・その文の前後を見て、「指示語」が指す言葉を探そう。
- ※特に直前の文は必ずよく見よう。

★ 例題9 問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

多くの人が使う、「またにしてください」「今はちょっと」という、その場しのぎ(注1)的な遠回しの断り方があります。でもそんな言い方が通用しないことは、一度、何かの勧誘電話でも経験してみれば、わかると思います。すぐに、「では、いつ連絡さしあげましょうか」「明日の今頃ならばよろしいですか」と時間の空いているところを探してきます。真面目でウソをつけない人は、暇のある時間をつい答えてしまうかもしれません。

相手が正当な要求をしてきているとしたら、それに対して真面目な対応をすることが筋(注2)でしょう。当たり前のように思えます。一見、これは正しい対処だと思われそうですが、それは相手がまともな場合に限り、近頃では、①そんなことをすると、うっかりだまされてしまうことがあるのです。

(西田公昭『だましの手口 知らないと損する心の法則』PHP研究所)

(注1) その場しのぎ：後のことは考えずに、そのときの状況だけで何とかしようとする

(注2) 筋：当然そうすべきこと

問① そんなこととは何を指しているか。

- 1 正当な要求をすること
- 2 真面目に対応すること
- 3 相手がまともな場合に対処すること
- 4 真面目でウソをつけない人に答えてしまうこと



ステップ1 本文を読んで全体をつかもう

キーワード：断り方、勧誘電話、だまされる、書名『だましの手口』*

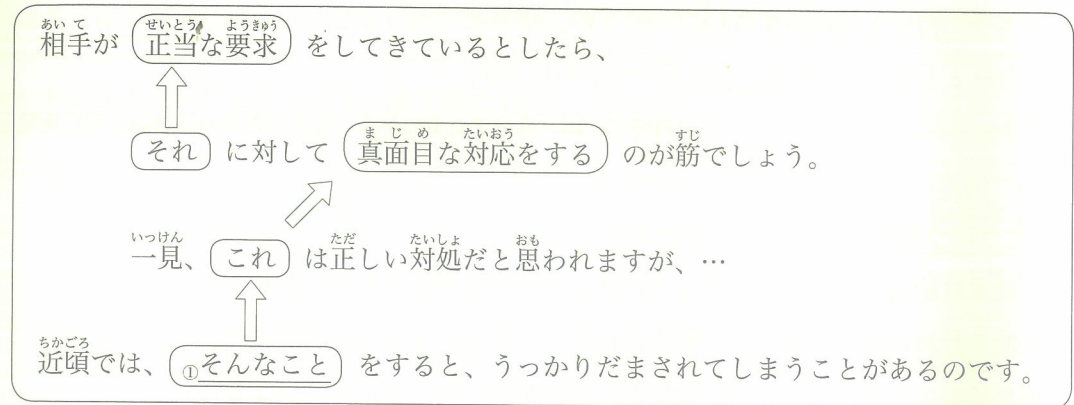
→ テーマは、だますこと？

*書名がいつもキーワードになるとは限らないが、ヒントになることもある。

ステップ2 問いを見て本文から答えを探そう

「指示語」に注目する

近頃では、①そんなことをすると、うっかりだまされてしまうことがあるのです。



① そんなこと = 相手の要求に対して、真面目な対応をすること

ステップ3 選択肢と比べよう

2: 正解

・下線部に「答え」を入れ、意味が通るか確かめよう。

1) 指示語を問う

◆ 下線部の「指示語+N(名詞)」が何を指すかを問う問題
 「N(名詞)」が指す言葉を探そう。

★ 例題 10 問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

私は新入社員によくこう言うんです。

「君たちはお金をもらって会社で仕事を教えてもらい、鍛えられている。給料をもらうなんて話が逆だろう。会社がもらいたいくらいだ。授業料、持ってこい」

これで本当に持ってきたらすごいことですが、今のところいません。しかし実際、新入社員を受け入れる会社としては、①「そういう感覚」でいるわけです。

(丹羽宇一郎『負けてたまるか！ 若者のための仕事論』朝日新聞出版)

問① そういう感覚とは何を指しているか。

- 1 新入社員に給料を払って、仕事を学ばせるのは、授業料だからしかたがない。
- 2 一人前の社員に育てるために、新入社員からお金をもらうのは話が逆だ。
- 3 仕事を教えてもらっている新入社員が授業料を払わないのはすごいことだ。
- 4 新入社員は、給料をもらうどころか、会社に授業料を払ってもいいくらいだ。



ステップ 1 本文を読んで全体をつかもう

キーワード：新入社員、お金、会社、仕事、感覚 → テーマは、新入社員の仕事？

ステップ 2 問いを見て本文から答えを探そう

1) 「指示語」に注目する

「会社としては、①「そういう感覚」でいるわけです。」

①「そういう感覚」は、「指示語+N(名詞)」の形。

2) 何を指すか見る

「そういう感覚」でいる = 「そう感じている」 → 「そう言っている」？

私は新入社員によく こう 言うんです。

↓

「君たちはお金をもらって会社で仕事を教えてもらい、鍛えられている。給料をもらうなんて話が逆だろう。会社がもらいたいくらいだ。授業料、持ってこい」

↑

…実際、新入社員を受け入れる会社としては、①「そういう感覚」でいるわけです。

①「そういう感覚」= 新入社員は会社で仕事を教えてもらっているのに給料をもらうなんて話が逆だ。新入社員は会社に授業料を払えと感じている感覚

ステップ 3 選択肢と比べよう

4 : 正解



練習 21 問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

物理学者でもあり、科学者の社会的責任などについて活発に発言している池内了さんは、「便利さとは、自分自身の中にある能力を失うこと」と述べています。(中略)

道具やエネルギーに多くを依存していると、これらが使えない状況になったときにとても困ることは、経験した人はもちろん、そうでない人も容易に想像できるでしょう。

自動はたしかに便利ですが、ただし、どの部分を「自動化」し、どの部分を、わたしたちの内的能力を高めることで処理していくか、わたしたち自身が考えて決めていく必要があります。便利さをどんどん取り入れていくことは、最初は「よい面」がよく見え、あたかも「よい面」しかないように思えます。しかし、①それはほんの一面に過ぎません。わたしたちは、「便利」や「自動」を受け入れるときには、それによって現れるかもしれない「悪い面」も予測できなければならないと思います。便利を受け入れる「実力」を身につける必要があるのです。

(佐倉統、古田ゆかり『おはようからおやすみまでの科学』筑摩書房)

問い ①それは何を指しているか。

- 1 自動化すること
- 2 便利さをどんどん取り入れること
- 3 よい面
- 4 悪い面



練習 22 問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

音楽にしる、美術にしる、演劇にしる、それを好んで鑑賞する人々の内面には、それぞれの表現手法に憧れる気持ちがあるんだろうと思います。できることなら、自分も同じようにやってみたい。けれどもふつうの人は、自分で表現できるほどの技術はないし、そのための訓練も積んでいませんから、プロのように歌ったり描いたりすることはできません。試しにやってみても、自分で思い描いていたような歌や絵にはならないでしょう。

そこで、人々の芸術欲を満たす代理人の役割を果たしてくれるのが、プロのアーティストたちです。

彼らの作品を鑑賞することで、私たちは、あたかも自分が何かを表現したような気分になれる。スポーツ(これも広い意味の芸術に含めていいでしょう)を見ているときの気持ちを思い出してみれば、①そういう面があるのは明らかです。

(林望『「芸術力」の磨きかた 鑑賞、そして自己表現へ』PHP 研究所)

問い ①そういう面とは何を指しているか。

- 1 自分の好きな音楽や美術や演劇など、それぞれの表現手法に憧れること
- 2 プロと同じようにやってみるが、自分が思い描いていたようなものにならないこと
- 3 プロの作品を鑑賞することで自分が何かを表現したような満足感を得ること
- 4 スポーツを見て、自分もまるで選手と同じように興奮した気持ちになること

練習23 問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

文句を言うことはとても大切です。文句を言う力をつけることも必要です。

ただ、いまは、言う「力」そのものが若い人から奪われている。なぜか。文句を言うことで、言った人自身が損をしてしまうと思わざるを得なくなっているからです。言ったらもっと状況が悪くなる。職場で疎んじられて、クビを切られるかもしれない。藪蛇(注1)だろう、ってことなんです。

さらには①そんな損得勘定以前に、「なにか言ったら、どうせどうにもならないよ」という空気が社会全体を覆っている。

(湯浅誠『どんとこい、貧困!』イースト・プレス)

(注1)藪蛇: よけいなことをして、かえって自分にとって悪い結果になること

問い① ①そんな損得勘定とは、何を指しているか。

- 1 文句を言うことが、自分にとって得になるかどうか考えること
- 2 文句を言う力をつけることが、自分にとって得になるかどうか考えること
- 3 クビを切られることが、自分にとって得になるように変えようとする
- 4 自分が損をしていると思われる状況を、得になるように変えようとする

練習24 問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

日本では、経済のことを「知っている」人が経済の専門家である。医学の知識のある人が医師。法律の知識のある人が法律の専門家。つまり学問をその対象によって分類している。これが変だということは、少し考えたら、わかるはずである。

料理には包丁を使う。包丁の使い方、研ぎ方、選び方には、共通の原則があるはずである。学問ではそれを方法論という。包丁をどう扱うか。学ばなくてはならないのは、それである。経済学を学ぶのではない。経済の取り扱い方を学ぶ。それは女房の扱い方を学ぶのと、同じか違うか。同じかもしれないし、違うかもしれない。

大学では①そういうことを教えなくてはいけない。私はそう思うが、そうではなくて、医学を教えたり、経済学を教えたり、法学を教えたりする。これでは役に立たなくて当然である。

(養老孟司『まともな人』中央公論新社)

問い① ①そういうことは何を指しているか。

- 1 包丁の研ぎ方、選び方
- 2 対象の取り扱い方
- 3 女房の取り扱い方
- 4 専門の知識